

## 平成26年度第5回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「水郷県民の森で初夏の里山の植物と生き物の観察」を実施しました。

開催場所：平成26年6月15日（日）9時00分～15時50分

開催場所：茨城県水郷県民の森（潮来市島須）

参加者：29名

今回の観察会は西浦と北浦に挟まれた行方台地の東端にある、水郷県民の森で行いました。水郷県民の森ではクヌギ、コナラなどのほか、シイ、カシなどの照葉樹林も見られ、適度に間伐管理された林床には光が届き、多くの植物を観察することができました。今回も福田先生に植物の説明をしていただき、施設内にある大膳池の魚については、わたくし福井が担当しました。

午前中は施設内の雑木林を主に観察しました。白い花を付けたオカトラノオの群落には多くの参加者が魅了されました。またネジバナには左巻きと右巻きがあるなど雑学的なことも学びました。植物以外にも小さなキツツキのコゲラや、珍しいチョウのテングチョウも見られました。初心者からベテランまで楽しめるのが植物観察の魅力だと思います。

午後は大膳池をまず観察し、コイ、メダカ、モツゴ、ヨシノボリなどとともにブルーギル、オオクチバスなどの特定外来生物が見られました。植物でも最近問題になっている特定外来生物のオオキンケイギクなども見られ、在来生物への影響が懸念されるなど、環境問題について皆さんで考えました。

一方で大膳池から流れ出す水路ではカワニナも見られ、ゲンジボタルが生息しているのではと期待させる場所でもありました。

水郷県民の森は森林や、大きな水辺、吊り橋が織りなす景観も美しい場所でした。霞ヶ浦流域には森林が約27%しかなく、県民水郷の森のようなまとまった緑は貴重です。この美しい景観がいつまでも残るようお願いしつつ観察会を終えました。

参加者のみなさん、福田先生、パートナーのみなさんありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

いよいよ観察会の始まりです。



いつも熱心な参加者のみなさん。



吊り橋はとても高いところにあり，絶景の眺望でした。



ネジバナです。



今回の一番人気オカトラノオです。



問題になっているオオキンケイギク。



大膳池のデッキから  
観察しています。

